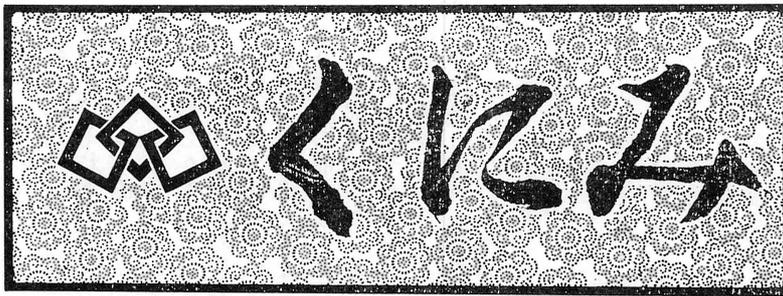


人口と世帯数	
男	5,775人
女	6,205人
計	11,980人
世帯数	2,632世帯
46.5.1現在	



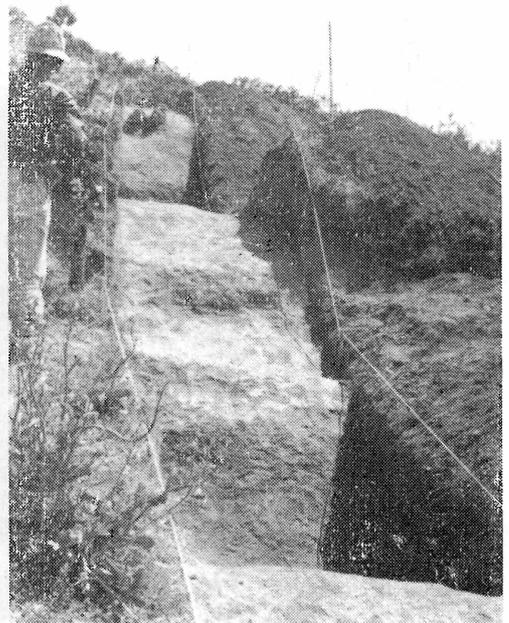
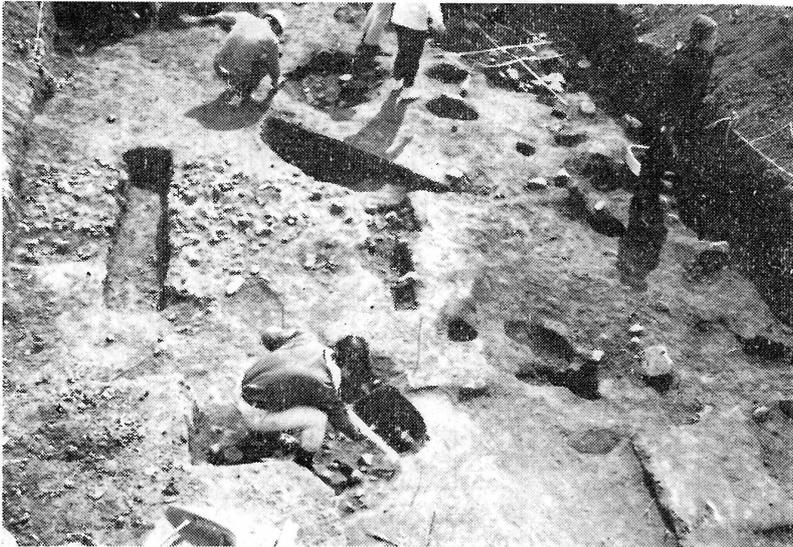
No. 164

1971/5/15

編集発行 国見町公民館

郷土の埋蔵文化財

下 大字光明寺〔山田遺跡〕 右 厚樫山〔二重空堀〕



七十年代を担う

町議会議員各位にのぞむ

公民館長 佐藤 善次郎

今回の選挙に際し、町民多数の興望を負って当選された二十二名の町会議員の皆様は、衷心から祝意を表します。向う四年間、町政のにない手として活躍されるわけですので、特に健康に留意されて、明るい町づくりのために、御尽力下さるよう御期待申し上げます。

次は町政に対して問題意識をもつべきだと思います。各自が一応立候補に際して政見を発表されておりますが、それは概して一般論でありしたがって焦点が多少ボケるのはやむを得ませんが、当選されてからはビジョンを明確に打ち出し、焦点をしぼってこれを町政に反映するよう、練りあげた問題意識を持つべきだと思います。先般岩瀬郡鏡石町の選挙公報を見ましたが、A候補者は「商売の悩み、農業の不安、働く婦人の育児の心配、それを取り上げることが、議員のつとめだと思います」と書いておられます。又B候補者は新人らしく「宴会政治や議員の大名旅行をなくしてこそ、明るい町になる」と、何れも身近な問題を取り上げております。このように町民の悩みを自分の悩みとし、しかも町民の声なき声を代表してこそ、選良の名にふさわしい町会議員であると思えます。それが単なる名譽欲や、利害関係で町会議員に

なられては、町民にとってこれより迷惑なものはありません。

第三は町会議員の識見の問題であります。急激な社会構造の変化に対処して、町政にあやまちなきを期するには、絶えず高所より社会の推移を把握して町民のゆくべき方途を明らかにし町民に安心感を与えるだけの識見を持たねばならないと思います。またそれだけの責任はあるわけです。その識見を養うには、町民より一步先んじた研修こそ必ず至のものと思えます。日日の新聞の論説欄には眼もくれない、月に一冊の本も手にしないようではどうして近代的町議と言われましようか、心すべきことと思えます。したがって議員の資質の向上のための研修の場と時間と費用は吝しんではならないと思えます。特にこの点は正副議長さんの善処方をお願い致します。任期中に愈々光彩をはなつ人と陰影だけが残る人とがあります。それは各自が研修を積んだか積まなにかによるものと思えます。議員の資質の向上が町の発展に重大な関係のあることを銘記せねばなりません。

政治を喰いものにしたり、権利を不当に振り廻す輩は少なしといたしません。どうぞ町民に奉仕する町会議員

以上失礼を願ひみず申し上げましたが、今回の選挙に、約四割に当る新人が当

選されておりますので、特に新人に付言することを許しを願います。

新人に望む第一は議会に新風を注入してもらいたいこととあります。一つの部屋の中に長時間籠る者には少しぐらいのガス洩れは気が付かないものです。まして空気の汚れなどは意に介しません。それが新しく入室する者には、直ぐわかる敏感さがあります。それと同様に沈滞しがちな議会を正気あらしむるための役割を是非買ってもらいたいと思

町議会新分野決まる

町議選後初の議会が、去る四月三十日に開会され、正副議長選挙、各常任委員の選任が行なわれ、次のとおり決定いたしました。

たが、私の希うところは只管、明るい豊かな住みよい町づくりの外他意ありません。「国民の国民による国民のための政治」とは、アメリカ第十六代大統領リン

- 町議選後初の議会が、去る四月三十日に開会され、正副議長選挙、各常任委員の選任が行なわれ、次のとおり決定いたしました。
- 議長 東海林一郎
- 副議長 菊地政治
- 総務常任委員 佐藤元一
- 〇渋谷貞一 八巻正雄
- 斎藤勘吉 菊地太三 東海林一郎 菊地政治
- 〇産業常任委員 〇佐久間正寛 〇八島昌 大沼西治
- 佐藤豊蔵 賀藤貞
- 〇建設水道常任委員 〇野正治 〇浅野義雄 菊池久志 林元治 佐藤忠美
- 〇文教厚生常任委員 〇羽根善一 〇小林正夫 古川要吉 菅野正明 穴戸三郎
- 〇一部事務組合協議員 〇大枝学校組合(五人) 羽根善一 小林正夫 菅野正明 菊地太三 穴戸三郎
- 〇伊達地方衛生処理組合(二人) 〇公立藤田総合病院組合

カインの有名な言葉です。この言葉の「国民」の二字を「町民」に置きかえた行動をされるよう願っています。御健闘を祈りませぬ。 暴言多謝

東海林一郎 菊地政治 大沼西治 古川要吉 小林正明 菅野正明

〇伊達地方消防組合(二人) 東海林一郎 菊地政治

赤十字募金運動 本年もよろしく

目標額二四一、九〇〇円

赤十字募金運動には毎年皆様から快よくご協力を賜り赤十字事業の進展と、明るい社会づくりのためご尽力を深く感謝申し上げます。

本年も五月一日より一ヶ月間この運動が全国一斉に展開されておりますので目標額達成に皆様のご協力を願ひ申し上げます。

日赤国見町分区分長 関口道孝

感情のもつれから物事の善悪を考えず、私情で賛成反対を決める人を間々見つけられます。議員は公人です。しかも一部の奉仕者ではなく全体の人の奉仕者の筈ですあくまでも公正な立場から、感情にとらわれずに、良いものは良い、悪いものは悪いと断乎たる態度を貫くべきだと信じます。

昭和46年度		長名簿		部落会	
部落会	名	世常数	班数	部落会	名
前町	7	102	7	藤	次郎清一
北町	6	70	6	物	徳
北町	8	91	8	幸	福彦
北町	9	78	9	勝	兼隆
北町	9	77	9	正	要久
北町	9	90	9	己	忠左
北町	10	108	10	外	重栄七
北町	4	44	4	郎	兵
北町	2	20	2	喜	エ
北町	2	18	2	藤	野
北町	2	19	2	野	藤
北町	2	30	2	野	藤
北町	2	20	2	戸	地
北町	3	27	3	橋	妻
北町	4	45	4	田	野
北町	5	32	5	野	野
北町	3	44	3	野	野
北町	4	43	4	野	野
北町	3	45	3	野	野
北町	3	45	3	野	野
北町	10	110	10	野	野
北町	計	109	109	野	野
北町	4	57	4	野	野
北町	6	41	6	野	野
北町	6	43	6	野	野
北町	5	55	5	野	野
北町	4	37	4	野	野
北町	8	45	8	野	野
北町	5	39	5	野	野
北町	5	50	5	野	野
北町	3	29	3	野	野
北町	7	50	7	野	野
北町	計	53	53	野	野
北町	1	56	1	野	野
北町	2	39	2	野	野
北町	3	43	3	野	野
北町	4	46	4	野	野
北町	7	59	7	野	野
北町	8	29	8	野	野
北町	3	41	3	野	野
北町	6	57	6	野	野
北町	9	21	9	野	野
北町	4	21	4	野	野
北町	4	57	4	野	野
北町	計	64	64	野	野
北町	9	114	9	野	野
北町	6	66	6	野	野
北町	6	60	6	野	野
北町	7	67	7	野	野
北町	6	63	6	野	野
北町	計	34	34	野	野
北町	4	30	4	野	野
北町	3	15	3	野	野
北町	2	26	2	野	野
北町	4	33	4	野	野
北町	3	19	3	野	野
北町	7	70	7	野	野
北町	計	193	193	野	野
北町	23	283	23	野	野
北町	計	2626	2626	野	野
北町	吉	玉	齋	由	朗
北町	田	手	藤	勝	壽
北町	勝	壽	義	由	朗
北町	吉	由	朗	吉	由

おめでと(う)ごさいます		(四月中出生届をされた方)	
出生日	氏名	名と続柄親	住所
26	八島 尚子	孝雄の3女	石母田蛭沢41
27	小野 亜矢子	良夫の2女	西大枝下金谷34
28	秦 清美	清一の長女	藤田字北1
29	吾妻 充	勝の長男	小坂木八丁32
31	鈴木 恵子	重男の長女	藤田観月台1
2	佐久間 津子	文彦の長女	藤田北63
3	吉田 勝明	利明の長男	山崎荒戸沢9
7	鎌田 恵子	健の長女	山崎北古館8
8	佐久間 美紀	利道の2女	塚野日北塚24
10	渡辺 かつお	正一の2女	大木戸霞原1の3
11	村上 守夫	守の長男	鳥取山田18
12	菅野 和臣	果の長男	高城下家老28
14	寺島 達也	忠一の長男	藤田藤田一、11の7
15	斎藤 貴子	太平の長女	藤田入王畑一、37
17	根本 香織	博の長女	塚野目南寺田8
18	遠藤 和彦	正男の長男	光明寺志久14のイ
19	佐久間 美幸	勝雄の長女	森山上野薬師10の1
20	武田 由香	允の長女	森山上野薬師10の1
20	笠松 勝善	文夫の2男	大木戸原町6
20	笠松 勝善	文夫の2男	大木戸原町6

開発から文化財を護ろう

二重堀の発掘調査

東北縦貫自動車道は南北一一五キロ、幅五〇メートルにわたって本県を縦断することになり、県南地方ではすでにその工事が始められ、わが町においても敷地の売買契約が済み、建物の移転や立木の伐採がすすめられている。この建設工事から文化財の適正保存をはかるべく、県教育委員会で、日本道路公団の委託により、県内五十余か所の遺



跡を発掘調査し、記録保存することになり、一昨年から三年計画で仕事を進めている。今年はその最終年度としてわが厚樫山をはじめ十一か所の調査が予定されている。厚樫山にはわが町の指定文化財としてさきの指定された有形文化財画像碑群と史跡阿津賀志山二重堀がある。画像碑群については適当な場所に移転し

が国見町教育委員会は全面的に協力することになった。作業は去る四月十九日から二十三日まで五日間にわたって行なわれた。県からは文化財専門委員田中正能氏を担当者とし、同じく鈴木安信、堀越友一、古川猛の三氏を調査員とし梁川屋旅館に泊りがけで調査に当たった。町教育委員会は鈴木嘱託が主となって宿舎や用具用品のあっせん、特に人夫の手配を受持ち、万事とごうりなく仕事をすすめた。時あたかも農繁期にもかかわらず、大木戸、森山、石母田各区の区長さんをはじめ各役員各位のご協力により毎日注文通りの人数が出動され、特に山根婦人会会長(吉川ミツ子さん)では、毎日お茶のサービスをしてください、関係者一同心から感謝していた。おかげ様で仕事は順調に進み、予期以上の成果をもって調査は終わった。発掘調査の結果については担当者から道路公団への報告(来年三月の予定)が行なわれた後でなければ発

山火事を防ごう

ワラビ取りや農作業の忙しい時期になりました。毎年この季節は山火事が多く発生しています。みなで注意しましょう。

- 1、山での火の使用はなるべくやめましょう。火を使ったら完全に消火しましょう。
- 2、歩きタバコは絶対やめましょう。
- 3、家を留守にするときは火の始末を確認しましょう。

お悔み申し上げます

(四月中に亡くなられた方 敬称略す)

死亡日	氏名	年齢	住居	所
4、4	富塚 伊助	70	小坂小坂31	
9	遠藤 テツ	86	鳥取中島5の1	
10	小林 とら	77	西大枝上台21	
19	黒田 孝夫	7	山崎小館脇10の5	
29	谷津 道子	33	石母田上野75の1	

ココホレワンワン

おつぎは堰下古墳

町史編纂の資料づくりのため三月には光明寺山田遺跡を掘り、四月に厚樫山二重堀を調べた町史編纂室では今月は板橋の熊野神社境内を発掘する予定で仕事を進めている。ここは「堰下古墳」として県の遺跡地名表に登録されているが、今から数十年前にすでに盗掘され、且つ住宅建設に際して大きくこわされているが、もっとくわしく調査するため、こんど目黒吉明さんが担当者となり、福島考古学会員の手によって正式の発掘調査をすることになった。すでに測量も済み、来る二十二日から三日間の予定で作業を進めるのでご希望の方は見学してください。

行政相談員



大宇藤田字北四〇
佐久間 岩 吉

わたくしは四月一日付で行政管理局長官より行政相談員を委嘱されました。行政相談委員の仕事は福島行政監察局で行なっている行政相談の窓口として、役所仕事についてお困りになつていること、納得がいかなること、希望することなどについて相談を受付ること

が主な役目であり、わたくしの受ける範囲は国の行政機関、政府関係機関(公社、公庫、公団等)の行なっている業務、または県市町村で行なっている業務で国の委任、或は補助にかかるとなる業務となつており、警察が民事関係の問題や、警察で扱っている判事を除けば

たいていの場合は行政相談の対象となります。一切無料で秘密を守り、親身になってお世話しますからどうぞ気軽にお申し出ください。なお、この制度についておわかりにならない点がございましたらわたしにご連絡ください。くわしくご説明申し上げます。

憲法と交通安全の話

婦人会のなめこ汁で舌つづみ

四月二十七日は四十六年度の入学、始業式を兼ねて第一回の学習があった。午前十時からというのに九時半にすでに五十人以上集まった。時間がもったいというので映画を見る。「集まった老人たち」という新しい



鈴木主事の学習上の注意などあって入学式並びに始業式が終わり十一時から「老人たち」をみる家庭奉仕員の活動を通して老人問題の一断面を見る。ほんとうに考えさせられる映画だ。十一時半から

あつかし俳句会 (四月三十日)

兼題 「春惜しむ」 「木の芽」 雑二句
席題 「蛸と」 (おたまじやくし)

母の香を偲ぶ木の芽を飯に炊く 早田灰鳥
蛸との群ひき上げられて踏まれけり奥山甲二
花ふぶき先生さようならさようなら斎藤黄鶴楼
老の足惜春の情沼ほとり
我齢八十路となりて春惜しむ
春惜しむ史跡のかまど五十年
花の影沼の面くたく鷺一羽
芭蕉碑に花屑残り春惜しむ
かしこしや産土神の森木の芽吹く
墓詣る老女と春を惜しみけり
晩霜を木の芽で占う古老たち
逢ふて来て独りの道を木の芽萌ゆ
春惜しみ春惜しみつつ山路行く
梅の木の下に実生の木の芽かな
孫のため片足入れて蛸とすくう
学巢へ戻る子の背に春惜しむ
手の届く木の芽をそっと指にむれ
牛追ふて木の芽にふれし山路かな
この道を曲れば別れ春惜しむ
ひそやかに独居の庭木の芽吹く

正 栄 貞 かね 昭 はる 祥 正 勝 夢 泰 山 蔦 雨 痴 正 一
雄 子 子 子 子 子 子 見 エ 水 山 月 水 田 仏 一 陽

三十分間桑折警察署交通係 三つわらない感謝のことばで
長久能明雄氏から交通安全 あった。
午後一時から憲法の学習 憲法記念日(五月三日)も 近づいたので、昔の憲法と 今の憲法について勉強しよう と、前の藤田小学校長田村操先生をお招きしたわけ なにしる旧憲法(大日本帝国憲法)で育ち、くらししてきたわれわれにとって、新憲法はびっくりすることばかり、主権在民と民主主義

戦争放棄と平和主義、自由主義と人権、どの一つきいても仰天して理解に苦しむ新憲法で育ち、教育をうけている今の若い人たちと生活や考え方が合わないのはあたりまえだ。しかし、あたりまえだ、当然だとあき級生の願いであった。

古文書からみた

国見町の歴史

—(講演会のお知らせ)—
昨年秋からやってみてまいりました古文書、(名主文書の部)の調べが一段落つきました。区長さんを始め部落役員や協力者皆様のご尽力によりまして、町内各区に保存されて居た古文書を一通り見せていただき、全部もくろくに登載いたしました。これまで土蔵の奥や、押し入れなどにしまわれ、門外不出として誰にも見せないであった古文書、またみたくところで全然読むことのできなかつた昔の文書類を専門家に調べていただいた結果、その数合せて七千余点、先祖の姿や郷土の歴史を調べるための最も有力な手がかりになることがわかりました。これらはやがていちいち解読して、皆様の前にお示しすることになりましようが差し当り中間報告の意味で主としてその任に当られた鈴木俊夫

日時 六月十二日(土)
午後一時三十分から
場所 町民福祉センター
講師 県史編纂委員 鈴木俊夫先生

青年キャンプ

技術研修会
六月二十九日から七月三日まで四泊五日の日程で磐梯青年の家で開催されます。要項その他については公民館に準備してあります。希望者は五月二十九日まで公民館に申し込んで下さい。